全体の鳥瞰

主題：神の永遠の定められた御旨を成就するために福音を告げ知らせる

一　神のみこころ

I.　神のみこころのゆえに、万物は存在し、創造されました
II.　神のみこころとは神の願いです
III.　コロサイ人への手紙は、神の大いなる永遠のみこころ に関する書です
IV.　神のみこころはキリストに集中しており、キリストのためです。キリストはすべてです。
V.　神のみこころは、キリストのからだとしての召 会を持つことです

二　神の永遠に定められた御旨

I.　永遠の定められた御旨とは、神が過去の永遠に立てた永遠のご計画です
II.　神は彼と全く同じである一群れの人々を生み出します。これは聖書の唯一の主題です
III.　私達は、創造と贖いにおける神の定められた御 旨を見る必要があります
IV.　神が私達を救い、聖なる召しをもって召してくださったのは、「彼ご自身の定められた御旨と恵みによります」

命において

三　神が人を創造したのは、神を表現させるためです

神が人を神のかたちに創造したのは、神の栄光を表現するため

I.　神は人に神を表現させ、神の権威をもって神を代行させる
II.　神は人を彼ご自身のかたちに創造された
III.　人に神を命として受け入れさせ、神のすべての属性において彼を表現させる
IV.　聖書には神と人との関係に関する奥義的な思想があります

四　キリストの栄光の福音を告げ知らせる

神のかたちであるキリストの栄光の福音を告げ知らせる

I.　御子キリストは、神が何であるかの表現です—
「見えない神のかたち」、
「神の栄光の輝きであり、神の本質の明確なかたち」
II.　キリストの福音は、彼の栄光の福音の輝きまた照らしです

行政において

五　神が人を創造したのは神を代行させるためです

神は人に統治権を与えて、敵を従わせ、地を回復し、ご自身の権威を行使する

I.　神が団体の人を創造したのは、ご自身を表現させるためだけではなく、統治権によってご自身を代行させるためでもありました
II.　神が人に統治権を与えた目的—神に反逆した敵サタンを従わせる
III.　神が人に統治権を与えた目的—地を回復する
IV.　神が人に統治権を与えた目的—人が地に対して神の権威を行使し、神の王国が地に来る

六　私達は神の王国の福音を告げ知らせる必要があります

神の王国の福音を告げ知らせる

I.　神の王国は、神がご自身のご計画を成し遂げる神聖な範囲です
II.　主イエスは肉体と成った神として来て、神の王国を設立しました
III.　宇宙における根本的な問題は、神の権威に対する反逆です
IV.　王国の福音を通して、神は人々を天的権威の支配の下にもたらし、彼らを神の王国とならせます
V.　私達はキリストにある信者として、神の王国の中へと入り、神の支配の下に生きています
VI.　王国の福音が、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられ、それからこの時代の終わりが来ます

第一週　神のみこころ

神のみこころ

Ⅰ　私達の神はみこころを持つ神です　（神のみこころ）

私達の主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と 力とを受けるにふさわしいです. あなたは万物を創造され、
あなたのみこころのゆえに、万物は存 在し、創造されたからです　/啓4:11

A　神は定められた御旨を持つ神　：神は定められた御旨を持つ神であり、ご自身の喜びのみこころを持っています　/エペソ3:9-11;コロ1:9

B　神のみこころのゆえに万物を創造した：神は彼のみこころのゆえに万物を創造しました。それは彼がご自身の定められた御旨を達成し、成就するためです。

C　神のみこころを私達が理解する　：神が彼の奥義を私達に知らせ、神のみこころ が何であるかを私達が理解することは、神の心の喜びでした　/エペソ1:9,5:17

Ⅱ　神のみこころとは神の願いであり、神が行ないたいことです（神の願い）

神のみこころとは神の願いです。神のみこころとは、 彼が行ないたいことです　/エペソ1:9

A　神の大いなる喜びはみこころの中に具体化されている：神の大いなる喜びとは彼のみこころから出たものであり、彼のみこころの中に具体化されているので、彼のみこころが最初に来ます　/エペソ1:5

B　神がキリストの中で私達に啓示することを通して　：神が彼のみこころの奥義を私達に知らせたのは、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、 昇天を通してです　/エペソ1:9,3:9

C　神のみこころを成就するためにすべての事柄を行なう：神はみこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行ないます。神の熟慮とは、彼のみこころを成就する方法を、彼が考えることです　/エペソ1:11

神のみこころ：神は永遠においてみこころを持たれた（定められた御旨）　/エペソ3:11　→ 神の願い：それは神の願望　/エペソ1:9　→

神の喜び：神の喜びは神のみこころから出たものであり、みこころが最初に来る　/エペソ1:5　→ 神のエコノミー：計画/神の働きをもたらす　/エペソ1:10;22-23

神のエコノミー

A 神のエコノミーとは、神のご計画であって、
B 神聖な三一の中で神ご自身を人の中へと分与し、
C キリストのからだを生み出し建造して、地上で神人の生活をする一群れの人を得て
D 新エルサレムにおいて究極的に完成して、神の団体の拡大された表現となることです

神の中心的な働き —“建造”

A　神の建造とは、キリストを人の中へと造り込むことです
B　神の建造とは、神と人のミングリングです
C　神の建造とは、信者の命における成長です

第一週（続き）

神のエコノミー

Ⅲ 神のみこころは神エコノミーにおいて啓示されている （神のエコノミー）

コロサイ人への手紙は、神の大いなる永遠のみこころに関する書です /コロ1:9,4:12

A 神のみこころは永遠から永遠に至る ：全宇宙、創造、贖い、来たるべき時代、永遠において、彼の願いと目的にしたがったみこころがあります

B キリストに関する神のエコノミーにしたがって：コロサイ第1章9節における神のみこころは、神の永遠の定められた御旨についての、キリストに関する神のエコノミーについてのみこころです /エペソ1:5,9,11

C 神が宇宙の中で計画された啓示です ：神のみこころを知る全き知識を持つことは、神のご計画の啓示を持って、神が宇宙で行なうのを計画していることを、私達が知ることです /啓4:11

Ⅳ 神のエコノミーの中で、キリストはすべてです （神のキリスト）

神のみこころはキリストに集中しており、キリストのためです。キリストは神のみこころの中ですべてです /コロ1:9

中心性

A キリストは神のみこころです ：神のみこころは、すべてを含み拡張するキリストを、私達が知り、経験し、生きることに関して深遠です /コロ1:9,2:9,16~17

B キリストは万物のうちで第一位：キリストは首位の方、すべてにおいて第一位である方です /コロ1:18

C 神のエコノミーの中心性と普遍性：すべてを含み拡張するキリストは、神のエコノミーの中心性と普遍性、中心と周辺です /コロ1:15-27;エペソ1:10

1 個人のキリスト：神のエコノミーにおいてキリストはすべてです。神はキリストを、キリストだけを欲しています。 彼はすべてでありすべての中におられます /マタイ17:5;コロ3:10-11

2 団体のキリスト：神のエコノミーにおける彼のみこころは、キリストを、私達の存在の中へと造り込んで、私達が三一の神の団体の表現となることです /コロ1:27,3:4,10-11

普遍性

D キリストは私達の分け前となる ：神のみこころは、すべてを含み拡張するキリストが、私達の分け前となることです /コロ1:9,12

E 私達のパースンと命として：神のみこころは、私達がキリストを知り、経験し、享受し、浸透され、キリストを私達のパースンまた命とすることです /コロ3:4,11

Ⅴ 神のエコノミーの中で、彼が召会をキリストのからだとして、団体の表現として持つ （神の召会）

神のみこころは、キリストのからだとしての召会を持つことです /コロ1:9,18,2:19,3:15

A キリストのからだは神の豊満 ：神のみこころは、キリストのためにからだを得て彼の豊満、彼の表現とならせることです /ローマ12:2,5;エペソ1:5,9,11,22-23,4:16

1 神のみこころのわきまえる：からだの生活をすることは、「何が神のみこころであるかを、わきまえる（証明する）」ことです /ローマ12:2,4-5

2 神のみこころと成る：私達がからだの正常な肢体であり、召会生活の中で行動し機能するなら、神のみこころの中の人となります /Ⅰコリ1:1~2,エペソ1:1,5:17;ローマ12:2,4~5

B 私達はキリストのからだの肢体：キリストはからだのかしらであり、私達は彼のからだの肢体です /コロ1:18前,2:19,エペソ4:15~16

1 団体の生活：からだの中で生きることは、かしらの下で肢体たちと共に団体的な生活を送ることです /15節;コロ2:19

2 全存在の中心：からだの生活をするために私達はかしらの下にいなければならず、またかしらを私達の命、主要な目的、私達の全存在の中心としなければなりません /コロ1:18前半2:19